

市民と市長の対話集会

市長と語ろう！

ほっとミーティング

テーマ ひらつかの「湘南平の魅力アップ」

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成30年（2018年）1月16日（火）
午後7時から午後8時30分まで
- 2 開催場所 平塚市役所 本館3階 302会議室
- 3 参加者 20人（学生）



ほっとミーティングの様子

4 あいさつ

【平塚市長 落合 克宏】

皆さん、こんばんは。平塚市長の落合です。本日はお忙しい中、平塚市役所にお越しいただき、ありがとうございます。

この市庁舎は、今年1月4日にグランドオープンしました。同じ庁舎内には、国の機関である平塚税務署も入り、全国に先駆けた利便性の高い庁舎となりました。皆さんも、機会がありましたら、一緒に市政を支える立場を目指していただけると嬉しいです。

さて、前回のほっとミーティングは、昨年10月17日、東海大学で開催させていただきました。テーマを「湘南平の魅力アップ」とし、いろいろな御意見をいただき、感謝しています。

今回のほっとミーティングの実施にあたりましても、池村先生、貴家先生、成川先生、多くの先生方に御協力をいただきまして、改めて御礼申し上げます。

本日は、皆さんから具体的な提案や意見を伺えるということで、楽しみにしています。若い皆さんの柔軟な発想力に基づく提案を、是非ともよりよい市政運営に反映できればと考えています。よろしくをお願いします。

【東海大学教養学部芸術学科 教授 池村 明生】

東海大学教養学部芸術学科の池村です。本日は、こうした提案の場を作ってください、ありがとうございます。私自身は地域連携センターの所長も兼ねていますので、日頃から平塚市にお世話になっているところです。

本日のほっとミーティングですが、3グループの学生たちの提案発表になります。この提案が、来街人口を増やすことに繋がればと思います。湘南平については、場所も知らない学生も多くおり、実際に訪れたうえで、内容をつめさせていただきました。内容等について、拙い部分もありますが、若い発想を伝えることができればと思います。提案に対しては、忌憚のない御意見をいただければありがたいです。

3グループの発表順については、まず貴家教授の国際学科のグループ。次に、私の芸術学科の学生のグループ。最後に、成川教授のチャレンジセンターのプロジェクト実践を履修する学生たちのグループとなります。よろしくをお願いします。

5 主なミーティングの内容

(1) 国際学科の学生による提案

【テーマ】

平塚市における外国人観光客向けの地域観光プロモーション

【提案者】

東海大学教養学部国際学科 学生7名（貴家教授）

【提案内容】

将来的に訪日観光客数の増加が見込まれることから、平塚市へも波及できると考え、地域や市民団体と連携をとり、外国人旅行者へ向けた地域体験型観光を提案する。

【具体的施策】

ア DMO

地域体験型の観光を実現させる主体として、DMO (Destination Management Organization) という地域の稼ぐ力を引き出し、地域の誇りと愛着を醸成するため、観光地経営に基づく、戦略を立てる行動主体に着目した。

イ 留学生への質問

日本に観光目的で訪れるとき、何を求めるのか、東海大学に通う留学生に質問をした。すると、温泉や花見、テーマパーク、アニメやドラマの聖地を巡礼したいなどといった、「こと消費」を求めていることがわかった。

ウ こと消費の平塚

外国人観光客に向け、「こと消費」の平塚をイメージさせたい。

- (ア) 工芸品達磨づくり体験
- (イ) 湘南イチゴ狩り体験
- (ウ) 平塚の近海での漁業体験

エ こと消費の空間づくり

外国人観光客がこと消費を行うため、快適な滞在が実現できるよう、空間づくりを行う。ゲストハウスであれば、文化の紹介や案内の多言語化。飲食店であれば、写真やイラストを使った表記、宗教を考慮した料理の提供などを行う。

オ 資金調達



クラウドファンディング（不特定多数の人からのネットなどを活用した財源の提供や協力）による資金調達で、平塚市の負担が軽減できる。

学生、地域、観光客の交流を軸に置いた地域振興活動に興味を持った人や団体などに資金の協力を求める。実際に資金提供を行ってくれた人や団体へ「こと消費」を体験していただく。

【まとめ】

DMOをベースに地域を活かす観光「こと消費」を推進し、実現させるための環境づくり（事業者、漁師、直売店等への働きかけ）が必要です。実行のためには、資金収集が不可欠で、それにはクラウドファンディングによる調達を進めます。提携先として、平塚市観光協会や神奈川中央交通、市役所関係部署と連携しながら、「こと消費」を実行することで、平塚市の観光に寄与できると考えます。






 **だるま作り体験～平塚で伝統工芸を作ろう～** 

＊平塚市にある荒井だるま屋では昔ながらの作り方を守り続けながら、親しみのあるだるまはもちろん、斬新なデザインのだるまや干支だるまなど新作にも力を入れて様々な種類のだるまを製作しています。

☆だるま作り体験の流れ☆

- ・「胡粉だるま」という江戸時代から受け継がれてきた技法を使って形作られた真っ白なだるまに絵付けをします。
- ・絵付け体験用だるまは、「自分で絵付けすること」を目的としているため、油性絵具・クレヨン・折り紙を千切って貼るなどの色付け方法で、世界に一つしかない個性のあるだるまを作ることができます。

 →  → 

＊アプローチ＊

私達国際学科の学生と一緒にだるま作り体験をすることで、外国人観光客の言語サポートができます。また私たちが間に入ることで、現地のスタッフと観光客のコミュニティの輪も広がると思います。

【市長】

資金調達の間まで考えていただき、ありがとうございます。

今までは、行政サービスを展開するために、すべてを市がやらないといけませんでしたが、しかし、現在では、民間の力をいただきながら、事業展開を考える必要があります。予算の事を考えることはとても大切です。こうした点に目をつけたきっかけはあったのでしょうか。

【学生】

前回のほっとミーティングの際に、計画を達成するためには、財源の確保が前提であることを実感しました。大学の講義でも、クラウドファンディングによる資金調達の方法を習いましたので、そうした面を提案の際にも、重要視しました。

【秘書広報課シティプロモーション担当 下田担当課長】

留学生に対するアンケート調査をされていますが、実際にどれくらいの方を対象としているのでしょうか。また、提案の他にはどういった意見がありましたか。

【学生】

東海大学の構内には、留学生と交流できるカフェがあり、そこで留学生10名くらいにヒアリングでアンケートをとりました。日本のイメージとして、桜、お祭り、花火などが挙がりました。平塚に対するイメージとしては、七夕まつりを挙げる方が多かったです。お祭りに興味があるようで、そこにいかないと体験できないお祭りがあれば、面白いと思ってくれるのではないのでしょうか。

【東海大学教養学部国際学科 貴家教授】

「こと消費」を効果的に実現するには、今あるものを有効活用していくことが必要です。アイデアや連携を構築することで、それを進めることができると考えます。市と民間がお互いに協力しあうことで、眠っている資源の価値を呼び覚ますことができるのではないのでしょうか。

これからの新しいあり方として、目立った観光資源が無くても、ここにすれば、様々なこと消費を体験できるという価値をすることで、外国人観光客を含め、多くの方が観光に訪れてくれると考えます。

(2) 芸術学科の学生による提案

【テーマ】

HIRATSUKA SHONAN HOLYLAND計画

【提案者】

東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程 学生10名（池村教授）

【提案内容】

平塚市に関わりながらも市外の人にとっても、魅力的なテーマをいくつか想定することで、たくさんの人に愛される「みんなの聖地」湘南平を目指すこととした。

【具体的施策】

平塚市の象徴的な場所である「湘南平」を聖地イベントのステージに見立て、平塚市をアピールする様々な資源をテーマとするプロモーションイベントを年間行事として恒例化させ、市内外の人が定期的に訪れたいくなる「みんなの聖地」を目指す。

ア 「薔薇」の聖地、湘南平

薔薇の産地をアピールするため、バラ足湯やバラスイーツを製作。

イ 「湘南ベルマーレ」の聖地、湘南平

ドリブル競争大会、OB選手とのタイアップ企画による工芸品展示。

ウ 「BBQ」の聖地、湘南平

頂上にバーベキュー広場を設置。フォトラリーで食材を提供。

エ 「だるま」の聖地、湘南平

期間限定のだるまを作成。オリジナルだるまのコンテストを開催。

オ 「麺愛好家」の聖地、湘南平

わんこ麺大会の開催。どんぶりの絵付け体験。麺レシピコンテスト。

カ 「スラムダンク」の聖地、湘南平

なりきりバスケット大会。漫画スタンプラリー。写真撮影ゾーン設置。

キ 「スキムボード」の聖地、湘南平

スキムボードの初心者講座、体験会。スイーツや氷菓子などの販売。

ク 「お野菜おばけ」の聖地、湘南平

頂上までの道にお野菜おばけのオブジェを設置。仮装コンテスト。

ケ 「新鮮」の聖地、湘南平

特産物のグルメフェス。使用された食材の直売。

コ 「ヒルクライム」の聖地、湘南平

ヒルクライムの大会。自転車貸出の体験会。飲料の無料配布。

【まとめ】

現在、まちづくりにおいて「定住人口」と「交流人口」が重要であると言われているが、真に大切なのは、その地に憧れて興味を持つ「関係人口」を増やすことです。観光として、一過性に終わる来街層を増やすよりも、平塚市に憧れて興味を持つ人たちを生み出していくことが、将来の基盤を作ることであると考えます。



【市長】

たいへん楽しく聞かせていただきました。本市としても、聖地という位置付けを作っていきたいと思っておりますが、まとめきれていないのが現状です。ですから、こうした多くの提案をいただけたことはありがたいです。一つ質問ですが、皆さんが思われる、聖地のイメージとはこういったものでしょうか。

【学生】

何か物事が生み出された発祥の場所というイメージがあります。すぐに、その場所が頭に浮かぶような場所ではないでしょうか。

【企画政策課政策担当 渡部主査】

非常に面白く聞かせていただきました。いろいろなアイデアがありましたが、その中でも、バーベキューの提案が面白いと思えました。運動や地域連携という観点も盛りこまれており、興味深かったです。こうした提案を作る際に何か参考にしたものはありませんか。

【学生】

湘南平に行ったとき、きれいな景色が印象的でした。その景色が広がる中でやりたかったことがバーベキューだったので、提案に挙げました。

フォトラリーについては、静岡県三島市にある日本一長い吊り橋である「三島スカイウォーク」で開催していたフォトコンテストや展示物を参考にし、いい景色を見てもらうには、こうした企画がいいのでは、と思いました。

■企画方針と目的

「BBQ」の聖地、湘南平

涼しくなったら運動の絶好の機会。ハイキングで体を動かして、美味しいBBQを楽しみませんか？ただ食べるだけじゃない、楽しいイベントが盛りだくさん！一人でもよし、仲間でもよし。運動の秋、味覚の秋、湘南平の最高の景色と一緒に召し上がれ！

■企画概要

名称： 手ぶらBBQバーベキュー/ナンチャンBBQフェスタ

プログラム案： 1) 湘南平絶景BBQ大会
湘南平の頂上にBBQ広場を設置！湘南平の絶景と海風を感じる空気の中で平塚の秋の味覚を堪能。スタート地点やコースによって獲得できる食材に違い、仲間と一緒に、バラバラのコースで競争しても楽しめます！（持ち込みもOK）フォトラリーの参加で豪華食材をプレゼント！運動の後の一汗は、たまりませんよ！☺

2) ナンチャンフォトラリー
おすすめ絶景ポイントに設置されたナンチャン（仮）を撮影して写真を集めよう！見つけてSNSに投稿してくれた数に応じBBQ広場で平塚フードをプレゼント。インスタ映え間違いなし！（青年層向け）

3) 平塚べじたまクイズ
クイズをハイキングコースの各所に設置。正解した際いかになんたクーポン券をプレゼント！実際に観かを購ってもOK。

4) ナンチャンワークショップ
湘南平の収穫で出た木材でワークショップ！ぬくもりあるウッドアイテムで、思い出をお持ち帰りください。（知育教育におすすめ！）

会場： 平塚市内～湘南平（トップヒル）

開催月： 9～10月ごろ

対象： 多世代層（ハイキング好きの家族、友達同士など）

担当部署： 平塚市農水産課

参加団体： JJA湘南/平塚市農業協同組合/平塚市内の生産農家、商店/大学

■参考イメージ



BBQの食材
平塚産野菜をさんだん使う。知名度アップにも、ベジタが来たら子どもも喜ぶかも？BBQの食材だけでなく、魚、スイーツ、デザートも。

ナンチャン
三島スカイウォーク参画、いたるところに設置される。WSで使う木材を扱うと結構楽しい。

クイズに答えるウォークラリーハイキング！

湘南平絶景BBQ大会 気持ちいい！

(3) プロジェクト実践Dの学生による提案

【テーマ】

湘南平バラ園計画

【提案者】

東海大学現代教養センター プロジェクト実践D履修学生3名（成川教授）

【提案内容】

湘南平の新しい魅力づくりとして、必要な要素を検討した結果、新名所として、バラ園を計画する提案をします。バラ園は湘南ローズテラス（SRT）とし、眺望の良い公園をイメージさせる名称とします。

バラ園を計画する理由としては、平塚市はバラの生産量が県内でもトップクラスであり、デートスポットとして来客数を増やすことが見込めるためです。

【具体的施策】

ア バラ園

バラ園は、バラを円形状に配置し、岐阜県可児市の花フェスタ記念公園のような配置とする。

イ 人工芝

電波塔の前の砂利部分に人工芝を敷き詰め、緑化を進める。

ウ 交通手段

交通手段として、ラッピングタクシーを提案する。2種類のデザインとして、湘南平と星空、バラと赤い糸を製作する。

エ 情報発信

湘南平の別名である高麗山公園から名前をとった「こまひめ」というキャラクターを製作。山を連想させるフォームで、手をつなぎたくなる街を連想させる赤いリボンや星でつないでいるキャラクター。湘南平をイメージしやすいキャラクターとして、情報発信に使用する。

また、平塚市が主体となり、総合情報リリースアプリを提案する。水戸市公式アプリを参考とし、旅行者が情報を検索しやすいものとします。旅行者だけでなく、市民のコミュニティツールとしても利用が期待できます

オ イベント

イベントとして、灯籠飛ばしやレストラン Flat と連携したグルメイベントを開催し、訪れたい場所にします。

【まとめ】

平塚市の魅力を伝えるイベントを開催するためには、労力と時間を使います。そのため、湘南平でのイベントを東海大学で考える機会を作ればと思います。東海大学チャレンジセンターの支援のもと、学生が自由な発想で企画・立案することで、盛り上がるイベントの提案ができるのではないのでしょうか。

また、東海大学の必修科目の授業で、平塚市のイベントを考える機会を作ることができれば、多くの学生が関わるができると思います。

湘南平の良さを知ってもらうため、バラ園、公園設備、交通手段、情報発信、イベントの開催を進めることで、平塚市への来街数増加を見込めると考えます。



イメージキャラクターの提案

こまひめ

湘南平を擁する高麗山に住んでいる姫
山を連想させるフォーム
湘南平の特色であるテレビ塔、
夜景バラ園をつけました。
星をつないでいるのは赤いリボン。
手を繋ぎたくなる街湘南ひらつかの愛称
どおり、
リボンで結ばれる、恋人、家族、友人…
海が近くにあることを波で表現



14

【東海大学現代教養センター 成川教授】

今回は、こまひめというキャラクターがポイントだと思います。こまひめを含めて、多くのアイデアが出て、それをまとめることに時間がかかりました。

実際に下見に行った際、平塚駅南口から海までの歩道が気に入りました。そのエリアから湘南平へとつなぐ交通手段として、ラッピングタクシーなどの案が出ました。バラ園もバラの街をアピールし、来街者を増やすためのきっかけになるのではと考えています。

【市長】

提案について、頼もしく聞かせていただきました。本市の魅力を向上させるために、真剣にまとめていただいたことに、嬉しく思います。

提案にあったこまひめは印象的でした。現在のイメージキャラクターの中には、池村先生のゼミで考えていただいたベジ太というキャラクターもいます。市民に対して、こうしたキャラクターを広げていくのは地道な展開が大切です。こまひめは、ベジ太などのイメージキャラクターの印象が薄かったために、考えられたのですか。

【学生】

イメージキャラクターはいろいろあっていいと思います。大切なのは、湘南平をどうイメージしていただけるかになります。湘南平の認知度を高めるためにも、ぜひ、ベジ太と一緒に使っていただけると嬉しいです。

【みどり公園・水辺課 石川課長】

提案にありましたバラの香る街づくりというのは、ぜひ湘南平でやりたかった事業の一つです。ただ、湘南平は海からの潮風が強く、バラの生育に適していません。どうにか進めていきたいのですが、頂上は難しいかもしれません。他の場所も含めて、検討しているところです。

湘南平の舗装箇所は劣化している状態で、砂利状になっています。長い間、手つかずの状態であるため、対応していければと思います。

3年前ほどから、景観を良くするため、慎重に見極めながら、伐採を進めています。南側と同様に、北側も伐採を進め、富士山も見るようにしたいと考えています。

6 まとめ

【東海大学教養学部芸術学科 池村教授】

本日はありがとうございました。前回のほっとミーティングと比べて、課題が具体的になりました。そのため、学生もアイデアを一步前進させて、考えてくれたと思います。

実際に提案を実現することは、様々な制約のなかで難しい面もあります。しかし、平塚市と大学が連携し、楽しんで課題を共有できれば、いい方向に進めることができると考えています。

【市長】

学生の皆さん、本日はありがとうございました。楽しく、またわくわくした気持ちで聞かせていただきました。

数多くの御提案をいただくなかで、それを実現させるためには、予算や許認可について考える必要があります。しかし、そういった既成概念にとらわれず、まずは思い切ってできることからやってみる、という考えを持つことは大切なことです。これからの平塚市が、いい街だね、住んでみたいね、と思ってもらえるために、一つずつの政策を積み上げていかなければなりません。

したがって、学生の皆さんからの思い切った提案を聞けることは、とてもありがたいことです。既存のものを使って、どうやって街の魅力化を図るか考える力は、今の時代に必要不可欠です。今日の提案については、街の魅力化のため、出来る限り、取り入れながら、政策展開を図っていきたいと考えています。

学生さんの意見の中で、定住人口や交流人口だけでなく、関係人口が重要だと話がありました。そのとおりであり、平塚市のファンをいかに増やしていくかを考えなければなりません。今後も、皆さんの視点を取り入れながら、具体的な政策展開につなげていきたいと思えます。

